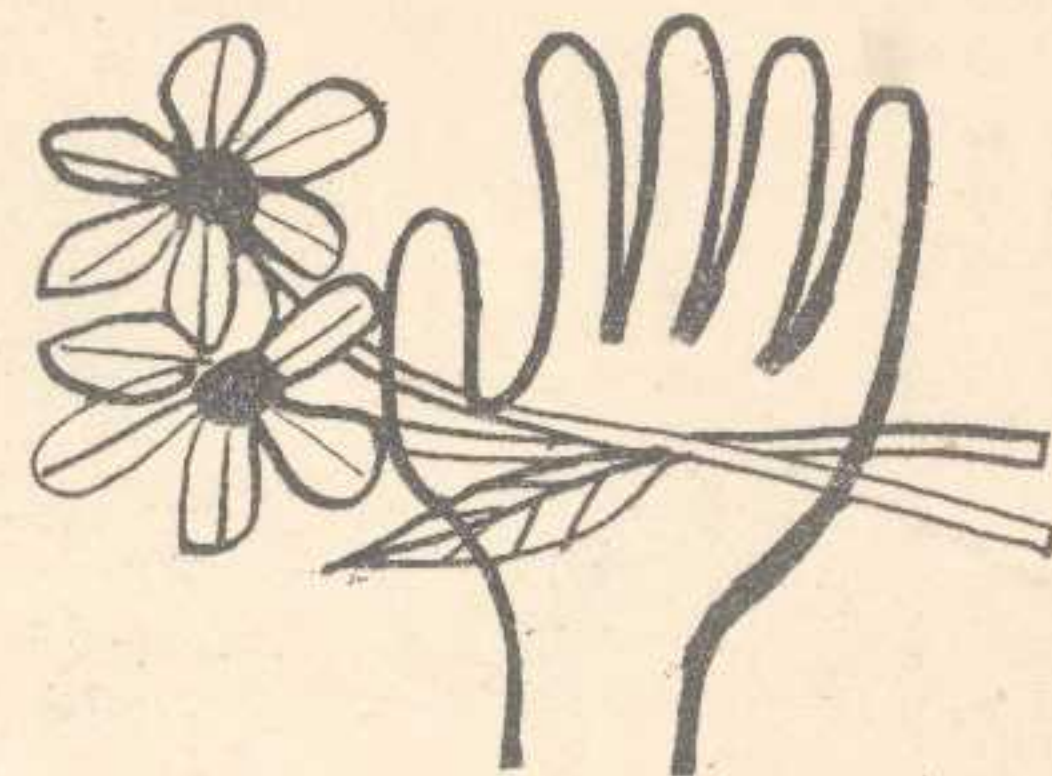


有能な職業人になりましょう!



労働省
婦人少年局

リーフレット

No. 35

学校を卒業して就職しようとする婦人のために



1.

なぜ ひと は職業をもつ のでしょうか？

- ① 自分に適した仕事にうちこんで働くことによつて、ひとはよろこびを得ます。
- ② 働いた結果当然に得られる収入によつて、ひとは生活をささえることができます。
- ③ そして 職業をもつことによつてひとはこの社会をすすめていくためのにないてとなるのです。

現在婦人はあらゆる職業 に進出しています

1950年（昭和25年）の国勢調査によると
職業をもっている婦人は1376万人です。
そのうち雇われて働いている婦人は361万
です。

婦人が多く働いている職業としては

農耕家族従業者	7,079,000
農耕作業者	839,000
販売店員その他の販売従業者	760,000
会計事務員	247,000
教員	230,000

女中（個人の家庭の）	229,000
和服裁縫師及びドレスメーカー	222,000
販売に従事する小売店主	211,000
織布工	209,000
女中及び給仕人（個人の家庭を除く）	206,000
農耕賃金労働者	156,000
人夫雑役	144,000
養蚕家族従業者	137,000
理髪師及び美容師	103,000
呼売人・行商・露天商人	103,000
看護婦	91,000
芸妓・ダンサー・接客婦	80,000
精紡工及粗紡工	77,000
繰糸工	66,000
電話交換取扱者	61,000
助産婦	37,000

（昭和25年国勢調査）

などがあります。

婦人が少ないものとしては

電気技術者・土木建築技術者・法務者（弁護士・判事・検察官）時計組立工・修繕工・製図工のようなものです。

このほかに

医師・歯科医師・保健婦・栄養士・薬剤師・国家公務員・警察官などにも婦人が進出しています。

職業をとおして良い社会人になりましょう

3.

中学校・高等学校を卒業して就職する婦人の数もふえています

昭和26年3月に中学校を卒業した婦人は84万余りですが、このうち38万余り(卒業生の45.8%)が就職しています。

昭和25年3月には約78万の卒業生のうち44%の婦人が働きました。

高等学校の卒業生についても、昭和25年には6万余りの卒業生の36%の婦人が就職したのにくらべて昭和26年には、16万8千の卒業生のうち、6万3千の婦人(卒業生の37.5%)が就職しました。

中学校や高等学校を卒業して就職する婦人の数は少ずつふえています。

では、中学校や高等学校を卒業した婦人はおもにどんな方面に働いているのでしょうか。

昭和26年に中学校を卒業して就職した婦人の半分は農業に従事しています。つぎには紡織業のような製造業(29.9%)やサービス業(5.7%)、小売業(5.2%)などです。

同じ年の高等学校卒業生のうち、農業・製造業に従事したものは中学校卒業生とくらべてその割合はるかに少なくなっています。(農業20.9%、製造業17.3%)次には公務(13.8%)、サービス業(11.6%)、小売業(10%)、金融業および保険業(7.4%)などです。

職業指導と職業教育をうけて就職につまじょう

4.

あなたがよい職業をもち、しつかりと仕事に根をおろして働くためには、次のことがらにお心がけください。

1. 職業をえらぶ前に

(イ) 職業にたいする知識をふかめましよう

- ① どんな職業があるか
- ② 仕事の内容はどんなものか
- ③ その職業はどんなひとをのぞんでいるか、どんな知識・経験・能力・特性のあるひとをのぞんでいるか
- ④ 労働時間、賃金その他の条件はどう

なつていのか
⑤ その職業は将来性のあるものかどうか
☆ あなたが沢山の職業についての知識をもてばつほど自分にふさわしい職業をえらぶことができます。

そのために

- ① 学校で職業研究のグループに加わり、熱心に研究しましょう。
- ② 両親・兄弟・学校の先生、職業についている先輩の意見をききましょう。
- ③ 機会をとらえてできるだけ職場を見学しましょう。

(ロ) 自分の能力や特性をよく知りましよう

- ① 身体の特性はどんな職業にむいているか。
身体の大きさは? 物をもつ力は?
 - ② 健康の状態は?
 - ③ 注意力は? ものを判断する力は? 応急の措置ができるかどうか? 理解する力は?
 - ④ 事務をとる能力は?
 - ⑤ 人を応待する力は?
 - ⑥ 性格は?
 - ⑦ 自分の家庭の事情は?
- ☆ 自分の特性や能力をあらゆる方面から冷静にみきわめることが大切です。

そのためには

- ① 適職検査、知能検査、素質、興味、特性等の傾向をしらべるためのテストをうけます。
- ② 両親や兄弟、学校の先生や職業安定所の係員とも相談します。

中学校の先生はいつています

「婦人はその仕事に自分にとって適しているかどうかをよく考えてみもしないで職業をえらぶ傾向があるようです。」

安定所の職業指導員もいつています

「男子は早くから職業の選択を一生のことと考へて、研究してから真剣にえらびます。婦人の場合には職業をえらぶのに慎重さがたりないようです!」

2. 職業につくには

(イ) どんな職場であなをまとめているかを知りましよう

安定所や学校には、方々の事業場から申込がきています。その申込のうちから

あなたは自分にもつとも適したものをえらぶことができます。

(ロ) すずんで就職の機会をとらえましよう。あなたのために

- (1) 学校、安定所では、あなたが職業をえらぶについての相談におうじています。
- (2) 就職をのぞむときや、補導所へ入りたいときには、先ず学校で「職業相談」をおうけください。
- (3) 安定所の仕事をしている学校では、直接就職のあつせんをしますし、そのほかの学校では安定所へ連絡してくれます。

3. 職業につくまえに

(イ) 仕事のうてをみにつましよう

えらんだ仕事によつては直ぐに職場で働けるものもありますが、就職のまえに技能を身につけておいた方が一般に有利なものがあります。

仕事の準備教育は、修業の期間が長くなるほど将来にはむくいられることが大きいものです。

家庭の事情や将来のことなどもよく考へあわせたりうて、事情のゆるすかぎり仕事のうてを身につけましよう。

(ロ) 働く婦人をまもる法律や労働組合についての理解をふかめましよう

雇われて働くひとは、「労働者」として労働組合をつくることができます。また働くひととびとが不当な労働条件で働くことのないよう労働基準法によつてまもられています。この法律は、婦人と年少者(15才以上18才未満)を特別にまもつています。

4. 婦人にふさわしい職業

(イ) 就職前に職業教育をうけなければならぬ職業には次のものがあります

1. 就業前に短期間(3-6ヶ月ぐら)の職業教育の必要な職業
これは中学校、高等学校卒業程度の人か公共職業補導所や養成所又は講習所などで3ヶ月から6ヶ月ぐら)の職業技術の訓練をうけてから就業するものです。

- △ タイピスト(英文及び邦文)
- △ 計算係(そろばん、計算器の訓練あるもの)
- △ 簿記係(かんたんなもの)
- △ 電話交換取扱者

△ 洋裁師助手
2. 就職前に相当期間(1-2年ぐら)の職業教育の必要な職業

これは中学・高校又はそれ以上の教育をうけてから、1年から2年ぐら)職業教育機関で教育をうけて就職するものです。

- △ 栄養士
- △ 理髪師・美容師
- △ 電気通信士
- △ 速記者
- △ 簿記者
- △ 洋裁師・裁断師
- △ 製図員・設計員
- △ 歯科衛生士・歯科技工
- △ 図書館司書
- △ 翻訳係・通訳係
- △ ポスター画家
- △ 児童福祉法による保育施設の保母
- △ 社会事業家(ケース・ワーカーなど)

3. 高度の専門的教育をうけてから就職する職業

これは3-4年以上の大学、専門学校教育あるいはそれ以上の教育をうけてから就職するものです。

- △ 助産婦、看護婦、保健婦
- △ 教師、(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学の教師)
- △ 医師、歯科医師、薬剤師
- △ 国家公務員、地方公務員
- △ 新聞雑誌記者、編輯者
- △ 法務者
- △ 科学研究员
- △ 統計家
- △ 会計士
- △ 人事管理人(工場、百貨店などの教育係、人事係)

(ロ) 就職前に職業教育をうける必要はないが職場での訓練の必要な職業にはつぎのようなものがあります

1. 2-3ヶ月から6ヶ月ぐら)の職場での訓練をへて技術をおぼえる職業
これは経験のない人が職について現場で2-3ヶ月から6ヶ月ぐら)働いているうちにうてを身につける仕事です。

- △ 写真士
- △ 検査工、試験工
- △ 製図工
- △ ハーモニカ調律師

- △ 調査員
- △ 統計係
- △ 料理人
- △ 洋裁助手

2. 1-2年以上の職場での訓練をへて熟練者となる職業。

これは職場で1年から2年以上実習しているうちに技術の熟練を身につけ一人前となる仕事です。

- △ 齒科技工
- △ 科学研究助手
- △ ラジオ放送技術家(アナウンサー・プログラム作成者など)
- △ 舞踊家、コーラスガール
- △ 装飾家
- △ ポスター画家
- △ 写真師
- △ 時計組立工、時計の調査、検査、試験工
- △ レンズ研磨工

△ ピアノ・オルガン調律師

3. 高度の職業的訓練の必要な職業

これは、学歴とはあまり関係なく、実際の仕事において高度の専門的訓練と経験を積みねばならない職業です。

- △ 画かき、漫画家
- △ 商業芸術家
- △ 音楽家
- △ 俳優

(ハ) 就職前に職業教育も訓練もなしに就職出来る職業ではつぎのものがあります

これは、わりあい単純な仕事で中学校又は高等学校卒業の程度で就職する場合の職業です。

- △ 単純な事務員(官公庁、会社の事務員、事務所の受付、案内係、劇場、映画館などの案内係、出札係、改札係、集金人、筆耕)
- △ 店員(商店、百貨店などの販売係、食堂の給仕、レジスター係)
- △ 装飾家助手、図案家助手
- △ 洋裁店見習
- △ 家事使用人、女中、子守、家政婦
- △ 各種不熟練工(編物工、紡績工、製糸工、製薬工、電球製造工、電線工、撰別工、製図工、写図工、見習など)

有能な職業婦人になりましょう



有能な職業人になりましょう。

5.

仕事につくまへも、ついてからも、絶えず仕事のうでのをのぼすことに心がけ、その職場になくはならない婦人になりましょう。

有能な職業人となるためには社会人としての一般的教養を身につけることも大切です。

経験の深い職場の先輩は職業人として巣立つ婦人のために次のようなことをいつています。

・職場の先輩からあなたに

- (1) 職場では親切できびきびした態度であること。すぎた遠慮はきられます。
- (2) あつさりと清潔な身ごしらえにしましょう。
- (3) お互いに協力して婦人が働きやすい職場にしましょう。

・男子の先輩からあなたに

- (1) 職場ではつまらないことにこだわるようなことなく、あつさりとしてほしいものです。
- (2) 自分のいゝたいことはどしどし発表してください。
- (3) 仕事の研究会や組合会議にもすすんで出席して下さい。

・使用者からあなたに

- (1) 第一に健康に気をつけてください。

(2) ひとにたよらず自分でできるだけ研究してください。

(3) 結婚までの腰かけと考えると職業につけばつい仕事もみにいらずあなた自身にもよい結果をもたらしません。いつたん職業についたからには自分の仕事に全任責をもつてやりとおしてください。

職業をとおしてよい社会人になりましょう！

△ 職業について相談したり、指導をうけたいひとは、公共職業安定所や都道府県の職業安定主務課におでかけください。

△ 仕事のうでのを身につけたい人は公共職業補導所または公共職業安定所に御相談ください。

△ 就職をのぞまれるかたは、もよりの公共職業安定所に申込んでください。